

愛知県立豊田西高校・東高校の生徒に防災講座を行いました

令和5年1月28日（土）、愛知県立豊田西高校で、同校の生徒6名・先生1名、豊田東高校の生徒2名・先生1名の計10名に防災講座を行いました。豊田市での防災講座の実施は、今回が初めてとなります。受講したのは、高校生防災セミナーや学校の防災班などで活動している生徒・先生方です。

講座では、豊田市で被害が大きかった伊勢湾台風や昭和47年7月豪雨災害、東海豪雨などを中心に、デジタル展示館も活用しながら学習しました。その後、VRで浸水を疑似体験し、早期避難の重要性や浸水の恐ろしさなどを実感して頂きました。

講座を通して、生徒からは、「VRで視覚的にとてもリアルな恐怖を感じた」「今までの自分の考えの甘さやすぐに行動することの大切さを知った」などの感想がありました。

今回の防災講座が、生徒の防災意識向上に繋がり、将来「守られる人から守る人」になって頂けることを期待しています。

なお、講座の様子は、中日新聞に掲載されました。



野見山展望台から矢作川上流を望む（豊田スタジアム方面）